



**PbOPSS-23**  
無作為オンラインパネル

## 無作為オンラインパネル『PbOPSS-23』のご登録者の皆様へ 2025 年第 3 回アンケートの全体結果のご報告

2025年 7 月

拝啓 今年もまた大変暑い夏となりましたが皆様は大過なくお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。今年前半は、トランプ大統領の関税政策やお米の価格高騰とそれに関わる施策などがメディアを賑わせました。イスラエル・イラン紛争も緊張を高めました。

さて、無作為オンラインパネル PbOPSS-23にご登録されている皆様には2~3月に第3回 PbOPSS-23パネル調査「2024 年の日本の政治変動と経済生活についてのアンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。3月にお送りした定期通信第7号でその速報として、ウェブによる回答のみを集計した速報をお伝えしました。今回は、紙調査票での回答も含めた全体の結果について抜粋してお伝えいたします。

また、前号の定期通信にお書きしましたように、今回は、E メールでの連絡を御希望されていた方も含めすべての方に一旦こうして印刷物でお届けさせていただきます。これは、2024 年のアンケートの結果で、E メール連絡だとこの定期通信がなかなかお目に留まらないことが推察されたためです。きちんと皆様にお届けできるようにと思いついていただきましたが、郵送を希望されない方はあらためてEメールでのご連絡に切り替えさせていただきますので、お手数ですが下記受付窓口までご連絡ください。

今後も4~5ヶ月に一度くらいの PbOPSS-23定期通信をお送りする予定です。お手元に届いた際にはぜひご覧いただければ幸いです。

本調査研究は2026年度末まで続く予定です。どうか引き続きご協力をお願いいたします。

敬具

皆様の個人情報につきましては、プライバシーマークを取得している専門調査会社のサーベイリサーチセンターのみが登録者名簿を厳重に管理し、大学研究者は皆様のご住所、お名前、メールアドレスは所持しておりません。この通信も、研究者側が作成したあと調査会社に送付を委託してお届けします。ですので、住所やメールアドレスなどご連絡先の変更は、下記のサーベイリサーチセンターの受付窓口にご連絡下さい。

### ご連絡先変更などの受付窓口

株式会社サーベイリサーチセンター 調査事務局 <https://www.surece.co.jp/>  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番3号 PMO 水道橋ビル 6F 担当: 土屋・阿部・西浦・生島  
フリーダイヤル 0120-366-354 (平日 9 時~18 時・土日祝祭日を除く)  
メールアドレス ochakenkyu@surece.co.jp

### 研究プロジェクト

研究代表者: 杉野 勇(お茶の水女子大学)  
研究分担者: 尾嶋 史章(同志社大学)、歸山 亜紀(群馬県立女子大学)、  
小林 大祐(金沢大学)、轟 亮(金沢大学)、平沢 和司(北海道大学)



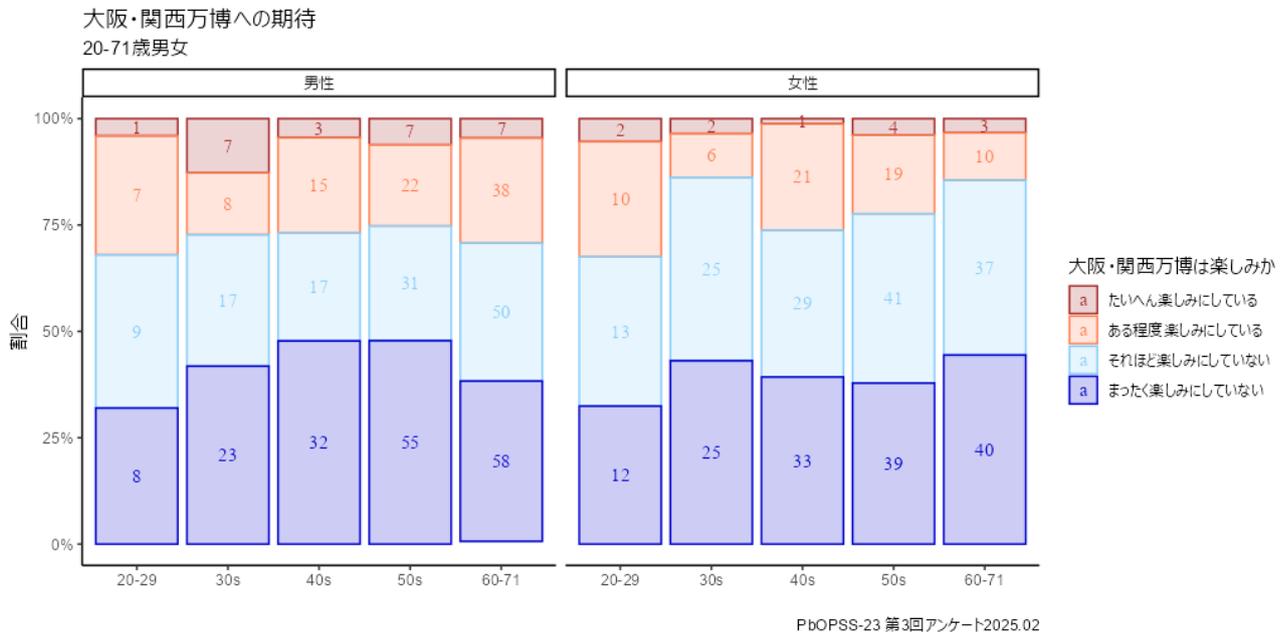
研究プロジェクトのウェブページでは、結果の報告など随時情報を更新しています。  
URL: <https://www.li.ocha.ac.jp/ug/hss/socio/sugino/PbOPSS23/>

**調査結果** PbOPSS-23パネル第3回調査「2024年の日本の政治変動と経済生活についてのアンケート」は、2025年1月22日時点でPbOPSS-23パネルに登録中の999人の方に回答をお願いし、最終的に約8割にあたる795人の方からご回答いただきました（ウェブ回答は709人、紙回答は86人でした）。795人の中には、最初にご依頼した登録者のご本人とは生年や性別が異なる方も18名いらっしゃいましたが、ここでは795人全員のご回答を集計してご報告いたします。

前回の定期通信では、衆議院選挙での投票、支持政党、政党や政治家への好感度、生活のゆとりについてウェブ回答の集計結果をご紹介しました。今回は、大阪・関西万博についての態度、メディア利用、そして今後の生活設計についての結果をご紹介します。

○大阪・関西万博について

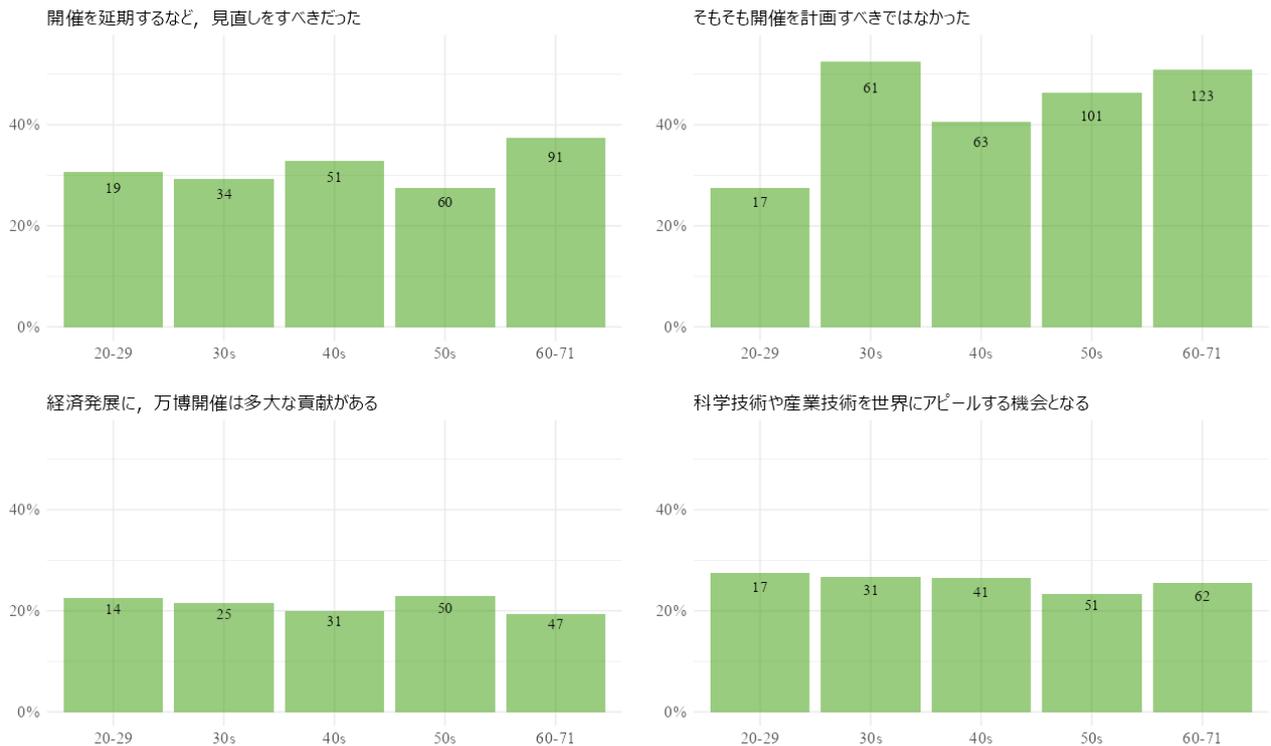
「あなたは、今年4月から10月に大阪市で行われる大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）を楽しみにしていますか。」（問15）とお伺いしました。結果は以下の通りで、男女とも、どの年齢層でも、楽しみにしていないとお答えの方の方がかなり多くなりました（棒グラフの中の整数は人数を表しています）。



楽しみか否かに加えて、「大阪・関西万博の開催に関する次のような意見について、あなたが賛成するものを全て選んでください。」（問16）として、以下の4つの意見に対する同意・不同意もお尋ねしました。

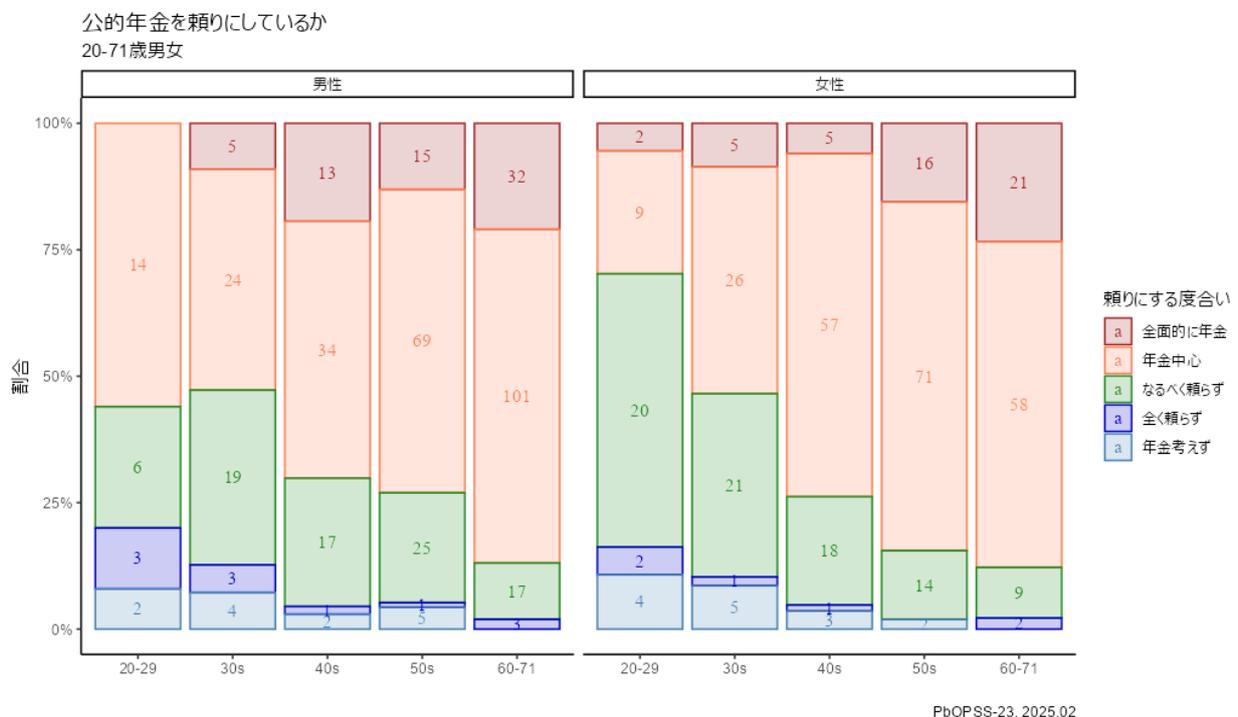
- 1 能登半島地震の復旧工事の妨げにならないように、開催を延期するなど、見直しをすべきだった
- 2 はじめの計画よりも費用が相当に大きくなっており、そもそも開催を計画すべきではなかった
- 3 大阪や関西地域の経済発展に、万博開催は多大な貢献がある
- 4 日本の科学技術や産業技術を世界にアピールする機会となる

年齢階層別に見たグラフは次のページの通りで、1つを除いて大きな違いがあるとは言えませんが、2つ目の「そもそも開催を計画すべきではなかった」は、30代を除いて年齢が高くなるほどそう思う割合が漸増傾向にあり、30代だけは高齢層と同程度以上にそう思う割合が高かったことが分かります。グラフは割愛しますが、男女での比較では3つ目の「経済発展に貢献」の項目だけ、男性の方が女性よりも9%ポイント高く、他の3項目はあまり違いはありませんでした。



○老後の生活設計における公的年金

回答者のみなさんの経済生活について、「あなたは、老後の生活設計において公的年金をどの程度頼りにしていますか。」(問18)と尋ねました。性別と年齢層で分けた集計結果が以下のグラフです。

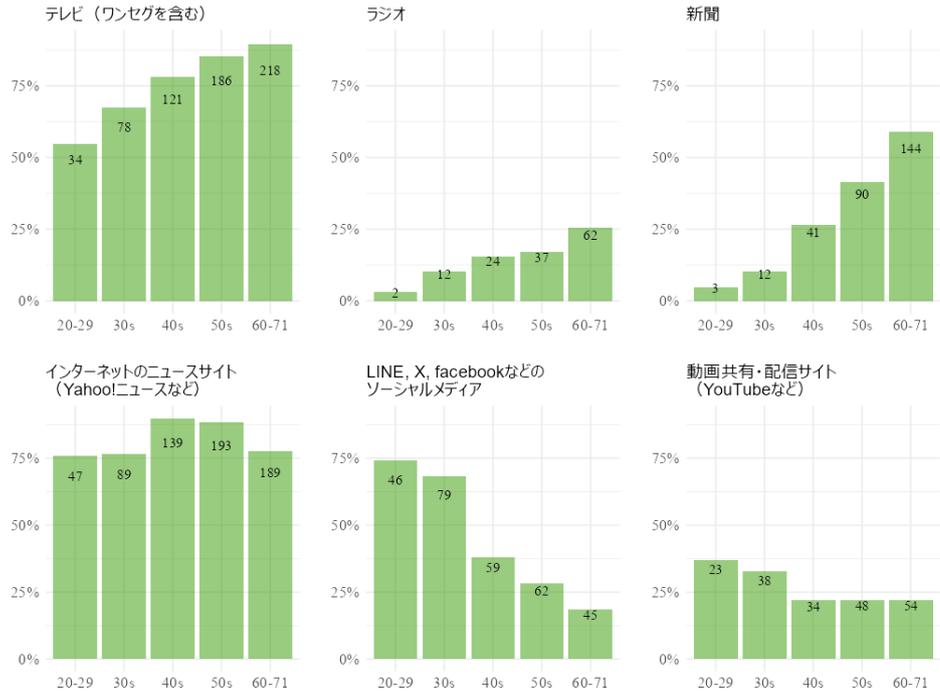


(回答選択肢: 1 全面的に公的年金に頼るつもりだ / 2 公的年金に頼るのが中心で、これに個人年金や貯蓄などを組み合わせるつもりだ / 3 公的年金にはなるべく頼らず、個人年金や貯蓄などを中心にするつもりだ / 4 公的年金にはまったく頼らないつもりだ / 5 公的年金について考えたことがない)

若い人ほど年金に頼らないつもりである割合が高くなっていますが、女性においてはとくにその傾向が明確に表れています(ただし若い年齢層の回答者がほかよりも少ない点には注意が必要です)。

○メディア利用について

「あなたはふだん、社会的な出来事に関するニュース(時事ニュース)を得るための情報源として、どのようなものを利用していますか。」(問5)として複数回答でお聞きした結果を年齢階層別に集計したのが右のグラフです。年齢によって利用するメディアが大きく異なっています(衆議院選挙でどのようなメディアを利用したかを尋ねた問9



でも類似の結果が出ていました)。TV・ラジオ・新聞は明確に若くなるにつれて利用しない人が増えますが、それでもTVは20代で半数以上の人利用しています。しかし新聞は5割を超えるのが60歳以上のみで、20代では5%不足です。ソーシャルメディアはそれらとは対照的です。他方、Yahoo!ニュースは年齢にかかわらず四分之三以上の人利用しています。YouTubeなども思ったほどの年齢差はありません。

つづく問6ではもっともよく利用するものを一つだけ選んでいただきました。このグラフでも上の傾向が同じように表れています。もっとも利用するものがTVである方は年齢が低くなるにつれて少なくなり、逆にソーシャルメディアだという人が、特に40歳未満で急激に増えます。2024年7月の東京都知事選で2位となった石丸伸二候補の選挙運動のスタイルをはじめ、SNSでの情報流通や選挙活動が話題とされること

が増えました。先日6月22日の都議会選挙でもYouTuber候補が当選したと話題になりました。ソーシャルメディアが選挙結果の主原因かは分かりませんが、「分断」が言われるアメリカに限らず、日本でも世代によって見ている世界がますます異なって来ているかもしれない点には関心をもたれます。

最もよく利用するメディア  
20-71歳男女

